10　家庭

学校番号	３０１３

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「家庭基礎～ともに生きる・持続可能な未来をつくる」（第一学習社）						
副教材等	「生活ハンドブック」　（第一学習社）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

○「生活」というテーマに関心をもち、積極的に取り組みましょう
・生活の様々な現象や課題について、理解を深め、実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな知識・技術を身に付けます。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

２ 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 作品・実習記録 レポート・発表 感想・考察・自己評価　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート・発表 作品・実習記録 感想・考察・自己評価・相互評価　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 作品・実習記録 レポート・発表 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ワークシートの記述 定期考査の結果 レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	青年期の自立と家族	○家庭科を学ぶ意義・目標 ○自分を見つめる ○「家族と社会」について考える。 ・人の一生とライフステージ ・家族の変化と現在 ・家族と法律 ○高齢者と子ども ※高齢者と子どもの生活については、1年を通してそれぞれの単元に関する内容を学習する。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a、人の一生・家族・生活や青年期の課題について関心を持って意欲的に学習する態度を身に着けている。 b、人の一生・家族・生活や青年期の課題などについて思考を深め、考えたことを他者に向かって表現できる。 c、資料などを通して、家族・生活・青年期の課題などを読み取り、自分の意見をまとめ、発表する技能を身に着けている。 d、人の一生・家族・生活・法律・青年期の課題などについて、基礎的・基本的な知識を理解し身に着けている。	授業観察 ワークシート
5月	食生活と自立①	○栄養と食品 ・炭水化物 ・タンパク質 ・脂質 ○食品の衛生と安全 ○調理の基礎 ○調理実習Ⅰ(＊) ・和食の調理の基礎 ・和食の食文化	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a、健康で安全でエシカルな食生活について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b、健康で安全でエシカルな食生活について思考を深め、適切に判断し、他者に向かって自分の考えを表現できる。 c、資料等を読み取ったりまとめたりする技能、及び、健康で安全でエシカルな食生活のための基礎的・基本的な技術を身に着けている。 d、健康で安全でエシカルな食生活のための基礎的・基本的な知識を理解し身に着けている。	授業観察 ワークシート 実習レポート
6月	食生活と自立①	○栄養と食品 ・無機質 ・ビタミン ○調理実習Ⅱ(＊) ・中国料理の調理の基礎 ・中国の食文化 ○何をどれだけ食べればよいか ・食生活調査 ・献立作り ・高齢者の食生活 ・子どもの食生活	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a、健康で安全でエシカルな食生活について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b、健康で安全でエシカルな食生活について思考を深め、適切に判断し、自分の考えを表現できる。 c、資料等を読み取ったりまとめたりする技能、及び、健康で安全でエシカルな食生活のための基礎的・基本的な技術を身に着けている。 d、健康で安全でエシカルな食生活のための基礎的・基本的な知識を理解し身に着けている。	授業観察 ワークシート 実習レポート

7 月	消費生活と経済・ライフスタイルと環境	○SDGsについて ○夏季休業期間中の課題説明 ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブについて ・児童労働について ・「エシカルコンシューマーになろう」をテーマとして、研究し、情報発信ポスターを制作する。（＊）	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a、ＳＤＧｓやホームプロジェクト及びエシカル消費に関心を持ち、課題に積極的・意欲的に取り組もうとしている。 b、ＳＤＧｓやホームプロジェクト及びエシカル消費について思考を深め、適切に判断し、他者に向かって創意工夫して表現できる。 c、ＳＤＧｓやホームプロジェクト及びエシカル消費について、資料等を読み取り、調査研究し、まとめる技能を身に着けている。 d、ＳＤＧｓやホームプロジェクト及びエシカル消費について、基礎的・基本的な知識を理解し身に着けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
8 月・9 月	消費生活と経済・ライフスタイルと環境	○「エシカルコンシューマーになろう」 制作したポスターを示しながら、研究を発表をする。（＊） ○消費生活と経済 ・契約 ・消費者問題の発生と消費者の権利 ・投資 ○ライフスタイルと環境 ・持続可能な社会の実現を目指す ・消費者としてできること	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	a、持続可能な社会の実現と自立を目指し、消費生活・経済・契約・環境問題などに関心を持ち、積極的・意欲的にポスター発表やワークシート学習に取り組もうとしている。 b、持続可能な社会の実現と自立を目指し、消費生活・経済・契約・環境問題などについて思考を深め、適切に判断し、他者に向かって表現できる。 c、資料を読み取り分析したり、調べたことや自分の意見をまとめ、他者に向かってわかりやすく発表する技能を身に着けている。 d、持続可能な社会の実現と自立を目指し、消費生活・経済・契約・環境問題などについて、基礎的・基本的な知識を理解し身に着けている。	ポスター作品 発表 自己評価 相互評価 授業観察 ワークシート

10 月	衣生活と自立	○衣服の成り立ち ・素材、性能 ・デザイン、色彩心理 ・衣生活のマナー ・高齢者の衣生活 ・子どもの衣生活 ○衣服と消費者 ・エシカルファッション ○衣服の手入れ（洗濯・リペア等）	○ ○	 ○	 ○	○ ○	a、人間の生活と衣服について関心を持ち、積極的・意欲的に学習に取り組もうとする。 b、人間の生活と衣服について思考を深め、適切に判断し、表現できる。 c、衣服の管理・手入れに必要な基礎的・基本的な技術を身に着けている。 d、人間の生活と衣服についての基礎的・基本的な知識を理解し身に着けている。	授業観察 ワークシート
11 月	衣生活と自立	○作品製作実習（＊） ・布を使って生活に役立つ作品を作りながら、SDGs実現にも役立つリペア技術を習得する。 刺繍やボタン等で自由に装飾し、自己表現する。	○	○	○	○	a、布を使って生活に役立つ作品を製作し、リペア技術を習得する実習に関心を持ち、積極的・意欲的に取り組もうとする。 b、布を使って生活に役立つ作品を製作する実習の中で、適切な装飾デザインを創意工夫し、表現できる。 c、布を使って生活に役立つ作品を製作する実習の中で、布の取り扱い方・縫製・修理についての基礎的・基本的な技術を身に着けている。 d、布を使って生活に役立つ作品を製作する実習の中で、布の取り扱い方・縫製・修理についての基礎的・基本的な知識を理解し身に着けている。	作品 実習レポート 自己評価 相互評価 授業観察
12 月	食生活と自立 ②	○食品と栄養 ・五大栄養素以外の栄養 ○調理実習Ⅲ（＊） ・西洋料理の調理の基礎 ・西洋料理の食文化 ・食のマナーについて DVD視聴やワークシート等	 ○	 ○	 ○	○ ○	a、健康で安全でエシカルな食生活やマナーについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b、健康で安全でエシカルな食生活やマナーについて思考を深め、適切に判断し、他者に向かって自分の考えを表現できる。 c、資料等を読み取ったりまとめたりする技能、及び、健康で安全でエシカルな食生活やマナーについて基礎的・基本的な技術を身に着けている。 d、健康で安全でエシカルな食生活やマナーについて基礎的・基本的な知識を理解し身に着けている。	授業観察 ワークシート 実習レポート

1 月	住生活と自立	○住まいを見つめる ・住居の歴史 ・安全で健康な住まい ○住居設計（＊） ・グループで住居平面図を制作し、プロジェクターを使って発表する。	 ○	 ○	 ○	○ ○	a、人間の生活と住居・住環境について関心を持ち、積極的・意欲的に学習に取り組もうとする。 b、人間の生活と住居・住環境について思考を深め、適切に判断し、他者に向かって表現できる。 c、資料を読み取り、研究し、グループで話し合って住居を設計して平面図をかき、わかりやすく発表する技能を身に着けている。 d、人間の生活と住居・住環境について、基礎的・基本的な知識を理解し身に着けている。	授業観察 ワークシート 住居平面図 発表 自己評価 相互評価
2 月 ・ 3 月	住生活と自立	○これからの住生活と住環境 ○防災・減災 ・DVD視聴 ・防災・減災の基礎 ・防災クロスロードゲーム（＊） ・避難所運営ゲーム（＊） ・千里高校校舎チェック（＊）	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a、ＳＤＧｓの視点、防災減災の視点を取り入れ、これからの人間の生活について関心を持って積極的・意欲的に学習に取り組もうとする。 b、ＳＤＧｓの視点、防災減災の視点を取り入れ、これからの人間の生活について思考を深め、適切に判断し、他者に向かって表現できる。 c、クラスメートと協力し、資料を読み取ったり調査して、わかりやすくまとめる技能を身に着けている。 d、ＳＤＧｓ実現や防災減災などについて必要な基礎的・基本的な知識を理解し身に着けている。	授業観察 ワークシート レポート 定期考査

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：技能　　d：知識・理解

※　＊は、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。